

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	地域・在宅看護援助論Ⅰ (地域・在宅看護と法制 度)	学 期	前 期	河上 葉子 (看護教員) 広瀬 直美 (主任介護支援専門員) 寺戸 恵美 (保健師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目 的 (ねらい)	対象者個々の生活や権利等を大切にしながら、生活の質の維持・向上を目指して家族を含めた看護を展開していくための知識を学ぶ。さらに在宅療養に深く関係しているケアマネジメントや介護保険制度の基本について学ぶ。			
目 標	1. 地域での療養生活における在宅看護の必要性と役割を学び、これからの保健医療福祉の動向に関心をよせる。 2. 在宅療養者の権利擁護について理解する。 3. 在宅療養者を支えるケアマネジメント・介護保険サービスについて理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1 2 3 4 5 6.7 8	在宅療養者の生活とは ケアマネジメント① ケアマネジメント② 介護保険制度① 介護保険制度② 在宅療養者の権利保障 在宅看護におけるリスクマネジメント	在宅療養におけるライフスタイルの重要性 ケアマネジメントの概要 ケアマネジメントを考える 介護保険制度の概要 介護保険サービスをマネジメントする 在宅療養者に関する権利擁護と倫理 在宅療養中における事故とその対策 被災予防と感染対策 *1.6.7.8 河上 *2.3 寺戸 *4.5 広瀬	講義 講義 演習 講義 演習 講義 講義 講義
教 科 書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版 ナーシンググラフィカ「在宅療養を支える技術」メディカ出版			
参 考 文 献	新聞、専門雑誌等。必要に応じて資料配布、紹介をする。			
評 価 方 法	定期試験、課題の提出状況・内容、授業中の態度を総合的に評価する。 定期試験は、広瀬、寺戸教員 (50 点)、河上教員 (50 点) 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関 連 科 目	文化人類学 心理学 コミュニケーション論 生命倫理学 現代社会論 リハビリテーション論 医療倫理 社会保障・社会福祉 公衆衛生 看護関係法規 看護学			
自己学習に関する指針	メディアを積極的に活用し、「在宅看護」「在宅医療」等に関する情報を各自で得ること。 地域・在宅看護概論の学びを復習しながら授業を受けること。			
その他の 通知事項	質問には適宜応じる。			